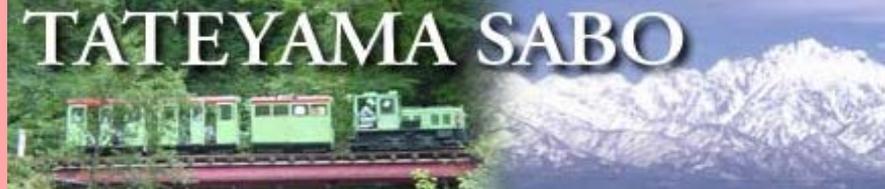


「常願寺川昭和44年の大災害から50年」 現地見学会を開催！ ～立山町立高野小学校～



常願寺川で観測史上最大洪水である昭和44年8月洪水から令和元年で50年となります。これを契機に当時の状況を知らない子供たちを対象に常願寺川の歴史や治水に触れ、学習することを目的として、11月27日(水)、現地見学会を開催しました。

本宮砂防堰堤からスタートして、常願寺川沿いの砂防施設などを見学し、砂防施設の役割や治水事業の必要性について学びました。また、富山防災センターでは災害対応車両を見学し、災害時の支援活動について学びました。

参加した立山町立高野小学校の5年生たちは、熱心に職員の説明に耳を傾け、積極的に質問をするなどして理解を深めました。

開催日：令和元年11月27日(水) 8:30～12:00
案内：立山砂防事務所、富山河川国道事務所
北陸技術事務所富山出張所
参加者：立山町立高野小学校 5年生(24名)、教員(2名)

(見学コース)本宮砂防堰堤→ピストル型水制、上滝床固
→大場の大転石→富山防災センター



よろしくお願いします！



出発！



日本最大級の貯砂量を持つ堰堤なんだよ

本宮砂防堰堤



メモメモ...



ピストル型水制

急流から堤防を守るんだ！



ゴム板を貼って、長く使えるように補修をするよ！

すり減った床固は付け替えるの？



大場の大転石

こんなに大きな石が流されてきたの！？



富山防災センター

震度7を体験！

千曲川の災害現場にも出動しているよ！



ありがとうございました！！